

20121020 現代政治戦略研究会議事録

「自治体Webサイトはなぜ使いにくいのか? ～ユニバーサルメニューのご紹介～」

日 時: 2012年10月20日(土) 15:00-17:50

場 所: 東京・竹橋 ちよだプラットフォームスクウェア

発表者: 安井秀行氏 (NPO 団体アスコエ 代表)

参加者: 参加者 7人 (発表者除く)

(財務コンサルタント、会社経営者、会社員、NPO法人理事長、
行政書士・司法書士など)

古村政治研会長から。政治研プロジェクトとして「地方議員、子育て政策比較サイト」の構築を目指している旨。これは、「議員って? 議会って?」という地方議会の見える化が趣旨となっている旨。

発表

I 自治体サイトの現状とユニバーサルメニューとは?

1. アスコエ自治体サイト評価

- ①各国政府 Web サイト比較
- ②自治体 Web サイトランキング (子育て編、シニア編)

2. トップページメニュー比較

自治体サイトは企業サイトとは違うということを言われた。が、調べてみたら一概にはそうは言えなかった

自治体サイトだから特別ではない

3. 誰にとって使いやすいか?

主婦かシニアか

ターゲット顧客が決まっていない

自治体はセグメンテーションしない。まんべんなくお客様がいるから

4. 主婦サイト評価。評価の高かったサイト、低かったサイト (字ばかり。アイコンが少ない。詳しくは下記へお問い合わせください)

5. なぜ使いにくいのか、なぜわかりやすいのか

利用者のやりたいメニューを探せない。メニューからたどり着いてもわからない

6. 自治体のメニューはどこでも同じようなものがあるのではないかと
たとえば、児童手当。所得制限もあるはず

7. ユニバーサルメニューへ

自治体行政サービスの分類

妊娠・出産→届出・手続き、検査、金銭的支援、サポート・施設、相談・問合せ

届出・手続き→概要、必要書類、申請場所、届出人、時期、費用、問い合わせ

8. ユニバーサルメニューの特長

特長① 高い網羅性（検索性の高い「情報発信」）

特長② 際立つ地域の独自性（知れば使える地域の行政情報）

特長③ 個々人に合わせた情報発信（パーソナル化の実現）

9. サイト構築における広報担当（各課の詳しいことはわからない）と各課担当（異動したばかりでわからない）の意思疎通の壁

10. サイトの使いやすさとは。「使いやすさ」に関する「デザイン」と「内容」の視点
デザインはできているが、内容ができない

11. ユニバーサルメニュー心がけた使いやすさの要素

①言葉遣い

「鹿尾菜」、読めますか？ 「ひじき」と読みます

②分類されていること

アクセサリー（銀座三越のフロアガイド）

③順番に意味があること

分類と順番に意味がある

自治体サイトの順番が考えていない例

④情報があること

自治体サイトには情報が載っていないことが多い

12. ユニバーサルメニューでは、

子育てや介護など行政サービスは全国にあるが、自治体ごとの独自の制度を際立たせたい
OS とアプリの関係

II 事業概要

1. 概要

① コンテンツ提供事業

② 広告事業

③ 電子行政支援事業

① コンテンツ提供事業

DB 作成して、ASP 的に提供する

(ビジネスモデル ジモトク.com β版)

自治体サイトに載っていない助成制度情報を網羅。項目分けて、比較もできるようにしている

メンテナンス。クロールしている。自治体ごとに違うところを拾ってくる

比較のメリット。たとえば、引越しのとき。と、地方議員の比較検討の参考資料（区役所職員そこまでできない）

B to G から B to B へ。たとえば、不動産会社へ行政情報コンテンツ提供

子育てにやさしいか、高齢者にやさしいかのデータを提供

不動産会社自社では難しい

生保会社へも。営業のネタとして

自治体内の行政サービス・組織のリストラクチャリングへの使用が可能

病院や大学にも援用が可能

投資信託も

行政サービスのロジックツリー化（MECE を目指している）

行政サービスの競争促進

ユーザーの声を載せる。行政サービスの「食べログ」化

ワールド・ワイドへ。インドの自治体サイトなど途上国へ展開を

UN。インフォメーション・フォバティ？

行政のベスト・プラクティス

② 広告事業

神戸市の育児応援サイト「ママフレ」を製作

自治体は広告に力を入れている。無償でチラシを配れる。チラシとサイトを連動させる

Ⅲ まとめ

自治体サイトをもっと活用してほしい

行政サービスの有効活用。民間でできるのではないかとすると、収益構造を作らなくてはならない

以上